

2 元気とうるおいのまち (1) 環境を核とした活力ある産業創出		評価理由	景気の低迷を踏まえて判断したため。	
36		37	38	39
資源リサイクル関連新設・増設企業数		地域の資源を活用した商品や製品を利用することを心がけている市民の割合		能代港の外港・内港商船入港船舶数（能代火力発電所専用棧橋を除く）
不景気の中でも1件の新規企業の創設があったため。		指標の推移による。市民の意識が低い。		指標の推移による。主に木材産業で利用しているため、木材産業の不調が影響している。

2 元気とうるおいのまち (2) 雇用を生み出す企業立地		評価理由	完全失業率の増加と新規学卒就職の求人数の減少を踏まえて、総合的に判断したため。	
40		41	42	
新設・増設企業数（リサイクル関連企業数を含む）		有効求人倍率		新規高卒者の就職内定率
2件の少ない結果であるが、景気に左右されるものであるため。		目標が「県平均に近づける」であり、県平均を上回っているので順調に見えるが、経済状況の影響もあり、実感として雇用環境は厳しく、求人数も減少しているため。もともと能代山本地区は有効求人倍率が低い。率より人数が重要である。		新規学卒就職の求人数の減少を踏まえて判断したため。実態は、希望する所に就職できていない。率より人数が重要である。

2 元気とうるおいのまち (3) 力強く持続する農業		評価理由	市民に地元産は良いという意識はあるが、現実に供給や価格の問題等で使用している割合が少ないため。	
43		44	45	46
野菜作付面積		担い手農地集積率（個人・集団を含む）		地元産の農産物は安全でおいしいと思う市民の割合
（国の統計から市町村別の内訳がなくなったため。）		指標の推移による。国や市において担い手の支援策等の動きがある。		学校給食で使用している野菜類のうち秋田県産の割合
		まちおこしの取組もあり、地産地消の意識は高まっているため。		指標の推移による。価格と供給量が不安定なため、冷凍野菜の使用が増えたことが要因である。

2 元気とうるおいのまち (4) 山・川を生かす林業・ 木材産業・水産業		(>_<) 不調	(^~) 順調 0 (-_-) 横ばい 2 (>_<) 不調 4
47 (>_<) 不調	48 (-_-) 横ばい	49 (>_<) 不調	50 (-_-) 横ばい
木材製品出荷額	木のぬくもりや木のまちとしての雰囲気があると思う市民の割合	木の学校利用者数	共同研究等（委託を含む）で実際に商品化できた件数

2 元気とうるおいのまち (4) 山・川を生かす林業・ 木材産業・水産業		(>_<) 不調	(>_<) 不調
51 (>_<) 不調	52 (>_<) 不調		
松くい虫被害量	漁獲高（海）		

2 元気とうるおいのまち (5) まちのにぎわいをつくり出す商業		(>_<) 不調	(^~) 順調 0 (-_-) 横ばい 1 (>_<) 不調 1
53 (-_-) 横ばい	54 (>_<) 不調		
地元商店街や近所の商店を利用することを心がけている市民の割合	商店街の空き店舗率		

2 元気とうるおいのまち (4) 山・川を生かす林業・ 木材産業・水産業		評価理由	指標の評価に不調が多いため。		
47		48		49	
木材製品出荷額		木のぬくもりや木のまちとしての雰囲気があると思う市民の割合		木の学校利用者数	
指標の推移による。		指標の数値は低いが、市民の意識や木に対するあこがれは高いため。		木の学校利用者の内訳をみると、市民の利用は横ばいだが、企業による機械利用者が低下しているため。	
				共同研究等（委託を含む）で実際に商品化できた件数	
				件数は0件であるが、研究の素材として、いくつかの取組が行われているため。	

2 元気とうるおいのまち (4) 山・川を生かす林業・ 木材産業・水産業			
51		52	
松くい虫被害量		漁獲高（海）	
被害量の実態把握は難しいことから、指標の推移による。		漁港の実態と指標の推移による。 主な要因は、はたはたの漁獲量の減少である。	

2 元気とうるおいのまち (5) まちのにぎわいをつくり出す商業		評価理由	商店街に人が集まっていないため。 大型店の利用が多く、空き店舗の利用が進んでいない。		
53		54			
地元商店街や近所の商店を利用することを心がけている市民の割合		商店街の空き店舗率			
商店は努力しているが、消費者との温度差があるため。		空き店舗がまだまだ利用されていないため。			